



和 都 第 820 号
平成19年 4月27日

国土交通省道路局長 殿

岡山県和気町長 大 森 直 徳



道路整備の中期計画の作成に向けての意見の提出について

このことについては、下記のとおり回答します。

記

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

- 1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
 - ・渋滞対策(バイパスの整備・踏切対策・交差点の改良など)
 - ・通勤、通院などの日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備
 - ・交通事故対策(通学路を主とした歩道の設置など地域住民が安全・安心して利用できる道路整備の充実促進を強力に推進)
- 2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
 - ・道路の建設や管理にかかるコストをもっと減らす努力をする(工法の工夫や新技術の活用など)。
 - ・事業の実施にあたって、早い段階から国民の考えや意見が十分に反映されるような取組みをもっと行う。
 - ・現在ある道路をもっと有効に利用する(高速道路料金の引き下げ、インターチェンジの増設など)。

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

要望事項

- ・国道374号線(益原地内)の道路嵩上げの早期実施
豪雨時に冠水し通行不能となり、緊急車両等が通行できない。
約800mの区間の嵩上げの要望。
- ・主要地方道岡山赤穂線(藤野地内)のバイパスの早期実施
平成16年度からPI手法による構想策定を行っている。
交通量が多く大型車の混入率が高い。また、歩道もなく事故が多発している地域である。
- ・主要地方道岡山赤穂線(和気橋)の架け替えの早期実施
和気橋は昭和39年に完成し43年が経過している。
施設の老朽化と共に耐震強度に不安もあり早急に架け替えを要望。